



PERFORMANCE
FREEDIVING
INTERNATIONAL

performance freediving international

- スタンダード&プロシージャー

Standards and Procedures associated with
Performance Freediving International Courses

pfi standards and procedures japanese



PERFORMANCE
FREEDIVING
INTERNATIONAL

Performance Freediving International Standards and Procedures Manual

PERFORMANCE FREEDIVING INTERNATIONAL

tdisdi.com/pfi

Performance Freediving International Standards and Procedures Manual:

発行元:International Training

電話:(888) 778-9073 | ファックス:(877) 436-7096

tdisdi.com/pfi | worldhq@internationaltraining.us

© 2019, by Performance Freediving International v.0123

権利に関する注意: All rights reserved. Printed in the Japan 1976年の著作権法で許可されている場合を除き、この出版物のいかなる部分も、出版者の事前の書面による許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製または配布、またはデータベースまたは検索システムに保存することはできません。

商標: Performance Freediving International®はインターナショナルトレーニングの登録商標です。



part 1



Introduction

目次

1. インストラクターパッケージ	13
2. このガイドの使用方法	14
3. 管理手順	14
▶ 3.1 認定	14
▶ 3.2 免責同意書と書類	14
4. インストラクターと認定アシスタント 参加資格	15
▶ 4.1 アクティブステータス	15
▶ 4.2 コントロール	15
5. 限定水域(コンファインドウォーター) トレーニング	16
▶ 5.1 コンファインドウォーターの定義	16
▶ 5.2 デモンストレーションと評価の要件	16
▶ 5.3 限定水域(コンファインドウォーター) トレーニングエチケット	16
6. オープンウォータートレーニング (海洋実習)	17
▶ 6.1 オープンウォーターの定義	17
▶ 6.2 オープンウォータートレーニング(海洋実習) のエチケット	18

7. ジュニア認定	19
8. コーチングセッション	19
9. モーターコントロールの喪失と ブラックアウト	19
10. PFI倫理および行動規範	20
11. 必要器材の要件	22
12. 事故の場合	22
13. 一般	23
▶ 13.1 各国地域事務局の所属手続き	23
▶ 13.2 アクティブティーチングステータス	24
▶ 13.3 保護観察(Probation/プロベーション)ステータス ...	24
▶ 13.4 ノンティーチングステータス	25
▶ 13.5 一時停止(Suspended/サスペンデッド) ステータス	25
▶ 13.6 除名(Expelled/エクスペルト)ステータス	25
▶ 13.7 PFIクオリティアシュアランス (QA) プロシージャー	26
▶ 13.8 定義	28
▶ 13.9 フォーム(各種申請書)	29
▶ 13.10 エグザム(最終試験)	30
▶ 13.11 ダイブリーダーのクロスオーバーの要件	30
▶ 13.12 2年更新/リフレッシュ方針	30

改訂履歴		
改訂 Number	Date	Changes
0719	07/01/2019	イニシャルスタンダード
0120	01/01/2020	3.1.2 医師の署名のための有効な用語を定義 10. 「PFI倫理・行動規範」に改題、箇条書き追加 13. "must"を "should"に差し替えました。 13.12 「メモ」の拡大解釈
0720	07/24/2020	2020年第2四半期半ばのPFIスタンダードに影響する変更点は、アシスタントインストラクターとの講習生/インストラクター比率の削減と修正、セーフティスキルの実行にマネキンの使用を許可、セーフティバディがダイバーから離れることができる距離を拡大、回復呼吸の指導方法の変更、ほとんどのスキルが修了要件に制定、細かい書式の誤りや誤植の修正、などです。
0121	01/01/2021	細かい誤字脱字を修正 6.1 インストラクター用のオプション追加
0221	02/01/2021	変更なし
0122	01/01/2022	2.すべてのPFIインストラクターがコースに必要な教材を保有することを明確化した。 3.2 PFI賠償責任フォームの名称を「PFI一般賠償責任およびエクスプレス・アサンプション・オブ・リスク」フォームに修正した。 4.2 第2項を変更、第4項を削除。
0123	08/25/2022	13.5 メンバー規約の項目追加 13.6 理由による資格の停止／署名に関する条項を追加しました。



1. インストラクターパッケージ

このマニュアルには、PFIインストラクターとしてのビジネスに必要なすべての関連情報が含まれています。同封されているすべての情報は、メンバーエリアの www.tdisdi.com から入手できます。

このマニュアルは、便利なりファレンス(参照)ガイドとして保管してください。フォームは、注文の処理、講習生の登録など、必要に応じてコピーできます。オリジナルをそのまま残すか、フォームをオンラインで確認し、必要なときにマスターコピーとして使用することをお勧めします。

世界本部:

PFI (Performance Freediving International)

Toll Free: 888-778-9073

Fax: 877-436-7096

E-mail: worldhq@tdisdi.com

Web site: tdisdi.com/pfi

注文または登録は24時間FAXで送信できます。

当社のプロフェッショナルのスタッフは、お客様のビジネスニーズ、質問、または懸念事項を喜んで解決します。私たちはあなたのビジネスに感謝し、一生懸命、最高のサービスを提供することを楽しみにしています！

2. このガイドの使用方法

PFIトレーニング スタンダード&プロシージャー、PFIインストラクターマニュアル、およびその他すべてのPFI印刷物は、PFI教育システムの基礎を形成し、すべてのPFIコースで使用されます。PFIプロフェッショナルは、実施または受講するコースに必要な教材を保有していなければなりません。これらの資料の間に相違がある場合は、**PFIスタンダード&プロシージャー** が優先されます。**疑問がある場合はPFI本部に問い合わせる。**

3. 管理手順

3.1 認定

すべてのPFIインストラクターは、PFIコーススタンダードに記載されたすべてのパフォーマンス要件を正常に完了し、コース料金が支払われている、または両者が合意した支払条件であれば、すべての受講者のPFI認定を処理する必要があります。

コース修了後、PFIインストラクターは7日以内に受講者を登録する必要があります。

3.2 免責同意書と書類

次の書類を確認し、署名する必要があります。

1. 各講習生は、ウォータートレーニングの前に、「病歴書」を読み、署名しなければならない。病歴書や講習生の外見・行動から、ダイビングの安全な活動に反すると判断された場合、講習生は水中トレーニングの前に、ダイビング・メディカル・エクステーションに基づき、免許を持つ医師の署名入りの書面による承認を受ける必要があります。医師は、PFIプログラムを受講している家族のメディカルに署名することはできません。未成年者の病歴書は、水中トレーニングの前に、親または保護者が確認し、署名する必要があります。医師が署名した病歴書(メディカル)は、特定の病歴書に有効期間が示されていない限り、病状に変化なければ最大12か月間有効です。
2. 各講習生は、水中トレーニングに先立ち、トレーニング開始時に **PFI 免責同意書** を読み、署名しなければなりません。未成年者の病歴書は、水中トレーニングの前に、親または保護者が確認し、署名する必要があります。

PFI インストラクターは、各講習生の進歩、スキル、知識のモニタリングおよび評価に使用した記録を、すべての法的文書とともに、地域の法律でそれ以上の期間が定められていない限り、7年間保管しなければなりません。

4. インストラクターと認定アシスタント参加資格

PFI フリーダイバー スーパーバイザー、アシスタントインストラクター、インストラクター、インストラクタートレーナーは、特に断りのない限り、以下「PFI プロフェッショナルメンバー」と称するものとする。「PFIインストラクター」「PFIアシスタントインストラクター」とは、フリーダイバー、中級フリーダイバー、上級フリーダイバー、インストラクタートレーナーなどすべてのレベルのことを指します。

すべてのPFIプロフェッショナル・メンバーは、地域／地方の法律で義務付けられている場合、賠償責任保険に加入しなければなりません。

4.1 アクティブステータス

アクティブステータス・プロフェッショナルメンバーとして認められるためには、PFIの現在のメンバー資格を維持し、毎年メンバー資格更新料を支払い、パフォーマンス・フリーダイビング・インターナショナルが承認する保険を有効かつ全額支払い、PFIからの一時または永久停止につながる品質保証の調査を受けていないことが必要である。

4.2 コントロール

指導するコースのレベルに応じたアクティブな PFI インストラクターが、すべての PFI トレーニング活動に参加し、管理するものとする。PFI インストラクターは、必要に応じて、担当するコース・レベルに応じた認定を受けた PFI アシスタントインストラクターを、PFI トレーニングの補助として使用しなければなりません。**PFIインストラクターは、可能な限りPFI認定アシスタント・インストラクターを使用して、PFIトレーニングをアシストすることが推奨される。**PFIアシスタントインストラクターは、単独で教えることはできません。

どのレベルのPFIアシスタント・インストラクターも、そのレベルのインストラクターの間接的な監督下にある間、限定水域とオープンウォーターで教えることができる。アシスタント・インストラクターは、必要な場合にインストラクターが直ちに介入できるように、そのレベルのインストラクターが同席しない限り、水中トレーニングを実施してはならない。

オープンウォーターとコンファインドウォーター（水中）トレーニングの講習生とインストラクターの最大許容比率は、各コースの規格に記載されています。**クラスルームでの活動における講習生とインストラクターの比率は、個々のPFIインストラクターが、講習生のニーズと既存の状況に効果的に対処する能力に基づき、各講習生に十分なスペースを提供しながら設定されます。可能な限り、トレーニング中は追加インストラクターまたはアシスタントインストラクターを使用すること。コンファインドウォーターとオープンウォーターの講習生とイン**

ストラクターの比率は、個人間の適切な物理的距離を確保するために下げる必要があるかもしれません。オープンウォーターダイビングの状況により、講習生とPFIインストラクターの比率を最大許容値以下にする必要がある場合、コースの個別基準を超えない限り、認定PFIインストラクターおよび/またはアシスタントインストラクターを使用して比率を下げる可以降低

5. 限定水域(コンファインドウォーター)トレーニング

5.1 コンファインドウォーターの定義

限定水域とは、プール、採石場、海岸などを含むが、これらに限定されない水の塊のことである。コンファインドウォーターは、穏やかさ、透明度、温かさ、安全性など、プールのような状態を表現する必要があります。プール以外の限定水域は、PFIトレーニング部門の承認が必要です。

5.2 デモンストレーションと評価の要件

講習生が、コース期間中およびコース終了までに、PFIインストラクターが満足するようなスキルの理解、実演、一貫した使用を示した場合にのみ、PFIインストラクターはこのスキルが最終認定への要件として正常に完了したと見なします。

5.3 限定水域(コンファインドウォーター)トレーニングエチケット

スキルの種類にかかわらず、すべてのスキルにおいて、適切な安全性を強化し、適切なりカバリーブリージングをプログラムするために、直接監督されたバディAとバディBのペア（パフォーマーとサーフェスセーフティ）が練習を実施する必要があります。また、マスクやスノーケルを含むすべての器材を準備し、不必要にプールの側面をサポートに使わないなど、海洋フリーダイビングに準じたすべてのプロトコルを採用する必要があります。

6. オープンウォータートレーニング(海洋実習)

6.1 オープンウォーターの定義

オープンウォーターとは、プール以外の水域のことです。オープンウォーター・ダイブサイトは、現地のダイビング条件や環境条件を現実的なものにする必要があります。

コースごとのオープンウォータートレーニングの最低潜水時間は、各コースの基準に記載されています。オープンウォータートレーニングは、1日に最大2セッション、合計6時間（セッション間の休憩を除く）修了することが可能です。これには、水中でのエントリーやエキジット、器材の準備や分解、ダイビング前のブリーフィング、ダイビング後のデブリーフィングなどが含まれます。

PFIプロフェッショナルは、各トレーニングダイブにおいて、講習生の気道から最大深度まで5m/16ft以内の視界を妨げない、または触覚による接触を継続し、介入する妥当な能力を維持しなければなりません。ランヤードシステムは、水中トレーニングの間、インストラクターが5m/16ftの距離を保ちながら、常に視覚的または触覚的な接触を保つために採用されることがあります。40m/132'より深いフリーダイビングでは、最低でもランヤード付きのフリーダイバー回収システムを利用しなければなりません。その間、インストラクターは40m/132ftまでの講習生から5m/16ft以内にいななければならない、40m/132ftより深い場所にいる講習生の場合は、インストラクターとアシスタントはタイミングを見守り、適切な時間内にフリーダイバー回収システムを起動できるようにしなければなりません。

中級フリーダイバーコースでは、インストラクターは講習生の後についていき、深度25m(82ft)で停止し、講習生がフリーダイビングを始めてから少なくとも25m(82ft)まで5m(16ft)以内にとどまり、講習生はランヤードとFRSを利用して40m(132ft)までの深度で追加の練習をすることができますが、以下の条件を満たしていることが条件となります。

1. 深度スキルの条件をすべて満たしている
2. ランヤードを使ったボトムターン、ヘッドポジションなど、適切なテクニックを一貫して身に付けていることが証明された。
3. インストラクターのサインに反応し、FRSを作動させるために、適切な地上支援が利用できます。PFIプロフェッショナル、またはFRSの操作方法について十分な指導を受けた講習生を通じて。
4. 受講生は、浅い深度でのランヤードの正しい使い方を一貫して実証しており、絡め取りの手順をうまく実践している。

フリーダイバーリトリブシステムは、緊急時にフリーダイバーを水面に浮上させるために設計されたシステムです。フリーダイバー回収システムは、次のような特性を備えていなければならない。

- ウェイトのついた底板。
- 等量のウェイトや追加の投下錘を持つカウンターバランス。
- 深度を設定し、ロックする手段。
- カウンターウェイトを素早くリリースしてリトリブを開始し、1秒間に1m(3ft)以上のスピードでダイバーを浮上させる手段。
- 電子式、油圧式、その他の動力式システムには、必ず手動によるバックアップが必要です。

PFIプロフェッショナルは、環境条件や講習生・参加者の心身の状態、器材の不具合により、水中トレーニングダイブの中止や日程変更を行う義務があります。これは、PFIプロフェッショナルがオープンウォータートレーニングダイブの時と場所で行う価値判断である。講習生がダイビングを正常に完了できなかった場合、講習生は同じ日の後半（トレーニング日の総トレーニング時間を超えないことが条件）または状況が修正された別の日にそのダイビングを行うことができます

スキルベースのフリーダイビングでは、ダイブサイトマーカー/フラッグと水面フロートに加えて、アセント/サポートラインを使用する必要があり、ツアーのみ、ダイブサイトマーカー/フラッグと水面フロートが必要です。ボートからダイビングを行う場合、ダイブフラッグはボートに残したままでもよく、ダイバーは地域の法律で決められたボートやフラッグ、フロートの近辺に留まる必要があります。海岸からダイビングを行う場合、ダイブフラッグはPFIプロフェッショナルが携帯するか、ダイブサイトに常設されなければならない、ダイバーは地域の法律で定められたフラッグの近辺に留まらなければなりません。

6.2 オープンウォータートレーニング(海洋実習)のエチケット

スキルの種類にかかわらず、すべてのスキルにおいて、適切な安全性を強化し、適切なりカバリーブリージングをプログラムするために、直接監督されたバディAとバディBのペア（パフォーマーとサーフェスセーフティ）が該当する場所で練習されるべきです。また、マスクやスノーケルを含むすべての器材を準備し、不必要にプールの側面をサポートに使わないなど、海洋フリーダイビングに準じたすべてのプロトコルを採用する必要があります。

7. ジュニア認定

ジュニアレベルの認定は、16歳未満で所定のコースレベルの全要件を修了した場合に適用されます。認定ジュニアフリーダイバーは、認定を受けた親または認定を受けた保護者と一緒にフリーダイビングをする必要があります。ジュニアフリーダイバーは、16歳になると、認定されたレベルの成人レベルの認定を申請することができます。

8. コーチングセッション

コーチングセッションは、フリーダイバー（またはそれに準ずる者）の認定レベル内のスキルに取り組むため、または認定されていない講習生のスキルパフォーマンスを認定完了に必要なレベルまで向上させるために、PFIインストラクターが運営することができます。コーチングセッションの基準は、コーチングセッションを受ける講習生の認定レベルと同じです。コーチングセッションに参加するためには、全コースを受講し、教室、プールセッション、該当するエグザム(試験)を最低限終了していることが必要です。コーチングセッションは、上位コースのスキルをアップグレードまたは導入するために使用することはできません。

9. モーターコントロールの喪失とブラックアウト

水中トレーニング中にブラックアウトが発生した場合、その講習生はその日のフリーダイビングを中止します。ブラックアウトを経験した講習生は、水面でフリーダイビングの活動を観察することはできますが、息止めの活動には参加してはいけません。講習生の呼吸の回復に救急救命の助けが必要な場合は、医療専門家または救急医療サービスの診察を受ける必要があります。

ブラックアウトに近い状態が発生した場合、講習生はインストラクターの密接かつ直接的な監視のもとで、スキルベースのダイビングとウォームアップダイブを継続することができますが、ターゲットダイブを行うことはできません。ただし、インストラクターは、この例外がクラス内で、インストラクターの直接指導の下でのものであり、レクリエーション・ダイビングでは認められないことを講習生とクラスに徹底させなければなりません。

一般に「サンバ」とも呼ばれる「ニアブラックアウト」または「LMC (Loss of Motor Control)」とは、「意識の喪失に至らない低酸素状態」と定義されます。ブラックアウトに近い低酸素状態の徴候や症状には、以下のようなものがありますが、これらに限定されるものではありません。

- 集中力、思考力の低下
- 筋肉の運動制御ができなくなり、繊細な作業を行うことができなくなる。
- 呼吸の不安定さ
- 混乱と情緒不安定
- 判断力の低下
- 眠気や脱力感
- 多幸感
- 視覚障害
- チアノーゼ

ブラックアウトとは、低酸素状態で、意識および/または筋肉の制御が完全に失われ、水中や危険な状態から自分の気道を維持することができなくなる状態と定義されています。

ブラックアウトからのリカバリー方法は2つに分類されます。

1. 一次救命処置 "BLS" をしなくても、ダイバーが意識や正常な機能を取り戻すことができる、自己回復型の意識。
2. フリーダイバーがBLSを必要とするアシストが必要な意識状態

水中トレーニングを実施する各PFIインストラクターは、ダイビング事故のエマージェンシープランを書面で作成する必要があります。ダイビングサイトの近くで利用可能でなければならない緊急機器には、応急処置キット、酸素ユニット、通信機器が含まれます。**救急設備は、PFIインストラクターまたは施設、地域の公安機関、またはその他の手段によって提供され、救急医療サービスを開始してから5分以内に利用可能である必要があります。**

10. PFI倫理および行動規範

PFIプロフェッショナルは、水中ダイビング中に講習生にスキルを強制することはできません。講習生が口頭または行動によってスキルを実行したくないことを示している場合、PFIプロフェッショナルは講習生を強制することはありません。

講習生が水中の問題に対処するために必要なトレーニングのレベルに達したとき、現実的な問題が提示されます。その後、講習生は実際のダイビングの状況と同じようにこれらの問題を解決する必要があります。PFIプロフェッショナルは、いつでも講習生に嫌がらせをしてはなりません。

PFIプロフェッショナルは、過度の寒さや倦怠感、過度のストレス、ケガ、気分が悪い、または最近病気になる場合、ダイビングをしないか、必要に応じてその日のダイビングを中止する必要があることを講習生に通知します。

- レクリエーショナルフリーダイビングは、他のレクリエーションスポーツとは異なり、ある程度の危険性と責任を伴うということを認識しています。
- 自分のダイビングのボディにしたり、自分の親しい人にレクリエーショナルダイビングを教えるという役割を任せられる人物でなければ、PFIフリーダイバーとして資格を与えられるべきではないと考えます。
- PFIプロフェッショナルは、ダイビングの為に、常に個人的、身体的、精神的な健康状態を維持します。
- PFIプロフェッショナルは、常に自分の器材を管理し、不具合のある器材では決してダイビングをしない。
- PFIプロフェッショナルは、プロフェッショナルとしての姿勢と客観性を維持することに努め、レクリエーショナルフリーダイビングの分野での安全性の概念を理解し支持しなくてはならない。
- PFIプロフェッショナルは、資格のない人にレクリエーショナルフリーダイビングをさせてはならない。
- PFIプロフェッショナルは、自分たちの知識を初心者に伝達することや、フリーダイビングに関する要請があった場合、講習会の開催や、質疑への回答、書籍出版や雑誌寄稿などを通じて情報提供に最善を尽くさなければならない。
- PFIプロフェッショナルは、水中環境の保全に対する意識を高め、実践するよう常に努めています。
- 自らの意思によりPFIメンバーに加わったPFIプロフェッショナルは、PFIを推進し、PFIによって採択された公式の決定をサポートする責任と義務を負います。このような義務を果たすためにPFIフリーダイバーとインストラクターは、次のような事項を守らなければならない。：
 - 組織の一員としてPFIを公にサポートする必要がある。
 - 改善が必要な場合は、権限と責任のあるPFIメンバーやフリーダイバーと直接やり取りをするプロフェッショナル的な方法で最善を尽くさなければならない。
 - すべてのPFIメンバーには、PFIの基準および倫理規定の違反を報告する義務があります。
 - 全てのPFIのメンバーは、講義、記事、書籍、通信などの全ての活動において、プロフェッショナル的な行動と道徳的な規範を示すために努力しなければならない。
 - ダイビングについて不正確な批判と意図的な扇動言動は不適切であり、望ましくない。

11. 必要器材の要件

すべての水中トレーニング中、各講習生は個々のコース基準に記載されている器材を装備する必要があります。

すべてのオープンウォータートレーニング中、各PFIプロフェッショナルは、すべての講習生用器材に加えて、水深計、個別のタイミングデバイス（ボトムタイマー）、緊急時の視覚的および聴覚的信号デバイス、ナイフ/ラインカッター、および酸素ユニットを装備する必要があります。

人（講習生またはインストラクター）に対して水面救助シナリオを実行する代わりに、サイズ、形状、浮力、および動きの特性でフリーダイバーをシミュレートする場合は、マネキンを使用できます。マネキンは、購入したマネキンでも、上記の要件に適合する場合はインストラクターが作成したマネキンでもかまいません。

12. 事故の場合

事故が発生した場合、主な関心事は事故者のケアをすることです。更なる懸念:

- 事故者の器材を保護する-重大な事故では、地方自治体が器材を管理する場合があります。
- **PFIの事故/インシデントレポートフォーム** を使用して、すべての関連情報を収集します。
- 事故者の家族や友人の心情に配慮してください。
- 事件の事実について推測しないでください。
- 潜在的な責任が誰なのかコメントしないでください。
- すべての写真を撮影し記録を残してください。

できるだけ早く、記入済みの事故/インシデントレポートをPFI本部または最寄りの地域事務局にeメールまたはFAXで送信してください。適用される免責同意書のコピーを含めます。トレーニング中に事故が発生した場合は、病歴書のコピーとすべてのスチューデントトレーニングレコードも含めてください。すべての事故を報告する必要があります（比較的小さな事故でも）。保険会社が特定の報告手順を必要とする場合は、同様にそれらに従う必要があります。別の教育機関を通じて実施されたトレーニングプログラム中にインシデントが発生した場合、インストラクターはその教育機関の手順に従う必要があります。可能な限り、すべての関係者に同じレポートを提出してください（レポートの複数のバージョンになることを避けてください）。その後の公式調査に協力してください。これは、PFI、地方自治体、およびその他の教育機関によって実施される場合があります。ニュースメディアや他人に発言することは控えてください。慎重なダイブプロフェッショナルは、緊急時の手順を確立し、使用するすべてのトレーニング場所の緊急時計画を確立します。CPRおよび応急処置の認定を最新の状態に保つ

ことは、慎重さを示しています。各場所の救急サービスの適切な連絡先情報があることを確認してください。状況をコントロールし、役割を割り当て、使用する器材と周囲を把握できる準備を整えてください。たくさんのメモを取り、レポートを時系列で管理し、器材と周辺地域の写真を撮影してください。証人にインタビューします。可能であれば報告を支援するために多数の証人からの聞き込み調査を行います。事故報告はタイムリーに完了し、適切な団体または個人に提出し、第三者と共有しないようにしてください。

13. 一般

1. インストラクターとインストラクタートレーナーは、これらの一般基準のに詳述されている「2年更新/更新ポリシー」を遵守する必要があります。
2. メンバーは、PFIコースを教える前に、更新されたアクティブティーチングステータスにあり、適切なインストラクターレベルを保持していることを確認する必要があります。
3. 全てのコースは、12ヶ月以内に修了しなければいけません。
4. 全てのPFIコースにおいて、講習生は、前のコースで必要とされた全てのテクニックを新しいインストラクターの前でデモンストレーションしなければならない。
5. 新メンバーは、署名したメンバー協定書をリーダーシップレベルの登録書類とともに提出する必要があります。会員規約は、本基準の第5部に記載されています。

13.1 各国地域事務局の所属手続き

1. メンバーは、次のガイドラインに従って居住国を管理している地域事務局(RO)に所属する必要があります。
 - a. メンバーは、4か月以上の間、その地域に居住していること
 - b. メンバーが教えるために別の地域に旅行する場合、その場所で継続的に4か月以上過ごす場合を除き、その地域事務局の一部とはみなされません。
2. すべての新規メンバーは、居住国の地域事務局に登録および加入する必要があります。
 - a. インストラクタートレーナーは、リーダーシップの申請書類を適切な地域事務局に提出する必要があります。
 - b. 新しいインストラクターを登録する地域事務局が不明なインストラクタートレーナーは、PFI世界本部にどうすればよいかお問合せ下さい。

3. メンバーは、所属する地域と一致する住所をユーザープロフィールに持っている必要があります。
4. 所属する地域外に渡航し活動するメンバーは、コースを実施するために、所属する地域の地域事務局に連絡して、現地の法律、規則、規制に精通し、必要に応じて、渡航先の地域事務局の指示に従うようにしてください。

13.2 アクティブティーチングステータス

全てのアクティブティーチングステータス インストラクターは、以下の基準に同意しなければならない：

1. 年会費は全額支払われなければならない。
2. 前年からのすべての未納金を全額支払われなければならない。
3. 該当する地域の法令に従い、現在加入している賠償責任保険の証明を提出しなければならない。
4. 少なくとも一度PFIコースを指導するか、アシスタントするべきである。PFIコースの指導とPFIダイバーの認定を受けるには、すべてのインストラクターがアクティブな教育ステータスを保持している必要がある
5. すべてのリーダーシップスキルを実行できなければならない。

13.3 保護観察(Probation/プロベーション)ステータス

インストラクターは、以下のような理由により、保護観察(Probation/プロベーション)ステータスとなる場合がある：

1. 未払いが90日を超える場合
2. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
3. 講習スタンダードに違反した場合

保護観察状態に置かれたインストラクターは、PFIコースを教え、PFIダイバーを認定することができます。さらにスタンダード違反があると、インストラクターが保護観察(Probation/プロベーション)ステータスから一時停止(suspension/サスペンデッド)ステータスまたは永久追放(Expelled/エクスペルド)ステータスに移動する可能性があります。

13.4 ノンティーチングステータス

インストラクターは、以下のような理由により、ノンティーチングステータスとなる場合がある：

1. 未払いが90日を超える場合
2. 一時的に一時停止(suspension/サスペンデッド)ステータスとなった場合
3. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合

ノンティーチングステータスになったインストラクターは、PFIコースを指導することや、資格認定をすることができない。

13.5 一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータス

インストラクターは、以下のような理由により、一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータスとなる場合がある：

1. 120日が経過しても未払いを解決するための努力をしなかった場合
2. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
3. 講習スタンダードに違反した場合

一時停止ステータスになったインストラクターは、PFIコースを教えることも、PFIダイバーを認定することもできません。さらにスタンダード違反があると、インストラクターが一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータスから除名(Expelled/エクスペルド)ステータスに移動する可能性があります。

13.6 除名(Expelled/エクスペルド)ステータス

インストラクターは、以下のような理由により、除名(Expelled/エクスペルド)ステータスとなる場合がある：

1. 120日が経過しても未払いを解決するための努力をしなかった場合
2. 保護観察または一時停止の状態に複数回置かれる。
3. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
4. 講習スタンダードに違反した場合
5. プロフェッショナルインストラクターとしての本分に反する行為をした場合。

除名となったPFIインストラクターは、PFIコースを指導することや、資格認定をすることができない。また、除名されたインストラクターは、二度とパフォーマンスフリーダイビングインターナショナルのメンバーとなることができない。

メモ:パフォーマンスフリーダイビングインターナショナルは、スタンダード違反が発生したという判断に基づいて、個人を一時停止、永久追放、または終了する権利を留保します。

資格停止または除名に該当する事項 - インターナショナル トレーニングは、会員が以下の行為を行った場合、会員資格を停止または除名することができる：
(i) (A)重罪、(B) 麻薬または中毒の繰り返し使用、または (ii) インターナショナル トレーニング、その親会社、子会社または関連会社、それらの役員、従業員または顧客のビジネスの整合性が損なわれ、インターナショナル トレーニングのビジネス評価に重大な悪影響を及ぼすもの、

13.7 PFIクオリティアシュアランス (QA) プロシージャ

教育の品質保証(QA)に係わる問題はPFI国際本部のトレーニング部門で管掌する。これは地域事務局とセールスマネージャーたちが最終決定においてで中立的な立場を保障するためである。

13.7.1. 一般的な品質保証(QA)手順

一般的な品質保証(QA)は、インストラクターからの資格認定を最近受けた講習生に対して、ランダムに質問書を送付し確認する。この質問書には、インストラクターの教育の質と適切なトレーニング教材を使用したのかなどを尋ねる。

コースに関するアンケートフォームを、返送用封筒を同封した郵便で送付するか、電子メールにて送信する。

アンケート回答内容は、PFI国際本部のトレーニング部門に送られる。

英語以外の講習生には、使用する言語に翻訳されて伝達される。PFIプロフェSSIONALの講習に問題が提起された場合は、次のような措置が行われるそれらは：

1. 不問処置
2. 保護観察(Probation/プロベーション)
3. 一時停止(Suspended/サスペンデッド)
4. 除名(Expelled/エクスペルト)

13.7.2. 不問処置

不問処置は、トレーニング部で伝達した情報が不十分、または根拠がないと判断される場合。

13.7.3. 保護観察(Probation/プロベーション)

保護観察(Probation/プロベーション)ステータスでは、メンバーが登録するすべての講習生にコース調査レターを送信する必要があります。メンバーがコースを教えることを制限したり、妨げたりすることはありません。この状態は、当該インストラクターへの通知なしに行われる。また、調査期間は一般的に短い。保護観察(Probation/プロベーション)ステータスはトレーニング部門において、当該インストラクターがPFIのスタンダードと倫理規定に違反したと考えられる場合に措置することができる。申立人から書面が提出されなくてもトレーニング部自体の判断によっても当該インストラクターを保護観察(Probation/プロベーション)ステータスとすることがある。

13.7.4. 一時停止(Suspended/サスペンデッド)

一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータスのインストラクターは、その期間中に講習を行うことができない。トレーニング部門では、当該インストラクターに対し一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータスとその理由について書面で通知する。一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータスとなったインストラクターは、15日以内に一時停止(Suspended/サスペンデッド)ステータスとなった疑惑に対して反論する書面をトレーニング部門へ提出しなければ、15日以降にトレーニング部門は疑惑についての調査を開始する。

13.7.5. 除名(Expelled/エクスペルド)ステータス

除名されたインストラクターは、永久にPFIプログラムを指導することができない。複数回の勧告を無視する場合や、除名(Expelled/エクスペルド)以外に正すことができない場合に、メンバーは除名(Expelled/エクスペルド)される。永久追放(Expelled/エクスペルド)はトレーニング本部の調査結果に基づき、国際本部会長の権限で実施される。

個人に関する全ての品質保証(QA) 資料は国際本部トレーニング部門で認めた機関または人物以外には機密である。

地域事務局とセールスマネージャーは、品質保証 (QA) に必要な資料の収集を要求されることがある。

暫定的なステータスまたは復帰トレーニングが必要な場合には、全ての要件が満たされるまで、現在の状態が維持される。

13.7.6. HQ品質保証手順

- **ステップ1:**国際本部のトレーニング部門はスタンダード違反や倫理規定違反の書面またはアンケートを受け付ける。書面は、必ず作成者/報告者の署名捺印がされていなければならない。(電子署名も可能) 電話での申し立ては認めない。
- **ステップ2:**PFI HQトレーニング部門は、問題のダイブプロフェッショナルの現在のステータスについてデータベースをチェックします。国際本部は、対象インストラクターの連絡先に違反報告を受理したという事実を通知する。通知は、最初に電話または電子メールで伝え、そのあと書面で通知する。
- **ステップ3:**通知書は、QA(quality assurance)の違反事実についての記載を含んでいる。通報を受けたインストラクターは、15日以内に書面にて弁明のための資料を提出することができる。
- **ステップ4:**本部は、当該インストラクターが過去に資格認定した講習生にアンケートを送る。
- **ステップ5:**全ての情報を収集し、検討した後で結論を下す。結果を書面で作成し、当該インストラクターへ通知する。PFI国際本部トレーニング部門は、結果を書面で作成し、当該インストラクターへ通知する。
- **ステップ6:**当該インストラクターのステータスがデータベースに反映される。

インストラクターについて収集した全てのデータは、国際本部のデータベースに記録されている。

13.8 定義

監督

1. 直接監督:インストラクターまたは認定アシスタントが講習生への指導とテクニック向上のための目視観察と評価をおこなうこと。直接監督はコース内でのテクニックを紹介し、テクニック開発する過程において個人についての観察と評価をしなければならない。スキルの導入および開発中、直接監督では参加者が同行する必要があります。
2. 直接監督:講習生のスキルパフォーマンスと参加者の全体的な制御、一般的な観察、評価と指導をおこなうこと。インストラクターは、講習生が必要な場合に、すぐに助けることができる位置にいないといけない。
3. 講習生の前提条件: コースを開始する前に講習生が満たさなければならない条件これらは、スタンダードで特にアウトライン化されていない限り、コース前に完了しておくことが必要です。ここにリストされている条件は、インストラクターが放棄することはできません。前提条件の書面によるスタンダードの免除は、コース、ダイブサイト、およびコース参加者の特定の過去の経験に応じて、アメリカ本部(HQ)トレーニング部門によって発行される場合があります。

略語:

CWT:コンスタントウエイト/Constant Weight:フリーダイバー自身の力でフィンを持って泳ぐフリーダイビング。着用したバラスト(ウエイト)は開始から終了までフリーダイバーにそのまま着用されたままとなります。

CNF:コンスタントウエイト・ノーフィン/Constant Weight No Fins:フリーダイバー自身の力でフィンなしで泳ぐフリーダイビング。着用したバラスト(ウエイト)は開始から終了までフリーダイバーにそのまま着用されたままとなります。

FIM:フリーイマージョン/Free Immersion:フリーダイバーの腕だけを使ってラインを引くことによって深く進むフリーダイビング。キックは許可されない。着用したバラスト(ウエイト)は開始から終了までフリーダイバーにそのまま着用されたままとなります。

VWT:ヴァリアブルウエイトフリーダイビング/Variable Weight freedive:フリーダイバーが追加のバラストにの重さで進み、ダイビングの最深部で追加分のバラストを解放し、自分の力で水面に戻る。

STA:スタティックアプネア/Static Apnea:コンファインドウォーター(限定水域)の水面での息止めの時間を測ります。

DYN:ダイナミックアプネア/Dynamic Apnea:フィンを使用しながら、コンファインドウォーターで水平距離を測るフリーダイビングです。

DNF:ダイナミックアプネアノーフィン/Dynamic Apnea No Fins:フィンを使用せず、コンファインドウォーターで水平距離を測るフリーダイビングです。

13.9 フォーム(各種申請書)

1. スタンダード&プロシージャー(S&P)に収録された必要な SDIフォームを該当するトレーニングコースで使用します。PFIから公式に提供されたフォームではなく、「似たような」様式は、PFI国際本部からの事前の書面による許可なしに使用することはできない。ただし、次の場合には、PFIで提供されていない様式の使用が許可されるが、トレーニングを開始する前に、PFI国際本部から認証を受けなければならない。
 - a. 講習生もしくはインストラクターが理解できる言語で書かれたフォームが無い場合
 - b. 現地の法令に基づいており、代わりに利用できるフォームがある場合

13.10 エグザム(最終試験)

1. 全てのPFIダイバーやリーダーシップコースのエグザム(学科テスト)は、80%以上のスコアで合格であり、不正解部分についてはインストラクターと一緒に再確認し、100%理解しなければならない。80%未満のスコアであった場合、別の試験問題にて再試験を実施しなければならない。

13.11 ダイブリーダーのクロスオーバーの要件

他のファーストエイド教育機関で認定されたダイブリーダーは、現在の認定証のコピーを提出する必要があります。彼らが活動しておらず、**5年未満であった場合**、彼らはその教育機関からの復職前にどの要件を完了する必要があるかを示す書簡を確保しなければなりません。次に、オンラインクロスオーバープログラム(言語で利用可能な場合)を完了し、適切なクロスオーバーアプリケーションを完了し、現在のリーダーシップ評価の証明、保険(地理的な場所で必要な場合)、および完了した文書とともに提出する必要があります。その後、有資格者とのクロスオーバープログラムを完了する必要があります*。

彼らが活動しておらず、**5年以上**であった場合、彼らはその教育機関からの復職前にどの要件を完了する必要があるかを示す書簡を確保しなければなりません。

ノンアクティブの期間が長い場合は、クロスオーバーしたいレベルのインストラクタープログラムを完了する必要があります。

13.12 2年更新/リフレッシュの方針

インストラクターとインストラクタートレーナーは、自身が指導できる最も評価の高いコースを2年に1回以上指導しなければならない。2年の期間内に1回も指導していない場合はそのレベルに関してノンアクティブインストラクターもしくはITとなるか、またはそのレベルでのアクティブステータスを取り戻すために、更新講習に参加しなければならない。通常、この方針の影響を受けるメンバーは、2年以上PFIメンバーとして更新しなかった人たちである。しかし、最高レベルより低いレベルのコースしか指導していないメンバーも影響を受ける可能性がある。

更新講習によりアクティブステータスに復帰するための詳細は以下のとおりで、インストラクタートレーナー更新教育を受けなければならない場合は、次の規定が適用される:

ITによる更新が必要な場合、次の基準が適用されます。

1. PFI: アップデートは、PFIフリーダイバーとスペシャルティーターとしての評価された者のみを対象としています。

ノンアクティブPFIメンバーの更新規定

1. PFIのメンバーであり、2年以上更新されていないが **別の公認のフリーダイビング教育機関で指導しているインストラクターの場合**、更新の要件には、以下：
 - a. オンラインの専門知識習得コースを正常に完了します（本部が発行するコード）
 - b. 現在、開催できるコースのすべての教材の購入またはランクの確認
 - c. 今年度の会員更新および契約書に記入して提出してください
 - d. 期間中のインストラクターとしての活動の詳細を記載した **PFI** メンバー更新フォームを送信します。これには、過去2年間の別の教育機関との同等の評価での教育活動の証明が含まれます
 - e. PFIのノンアクティブ期間中は、他の教育機関と品質保証(QA)の問題がないことを確認してください。
2. PFIのメンバーであり、2年以上更新されておらず、 **他の認定された教育機関で指導していないインストラクターの場合**、更新の要件には次のすべてが含まれます。
 - a. オンラインの専門知識習得コースを正常に完了します（本部が発行するコード）
 - b. 現在、開催できるコースのすべての教材の購入またはランクの確認
 - c. 今年度の会員更新および契約書に記入して提出してください
 - d. 過去2年間、他の教育機関とQA(quality assurance)の問題がないことを確認します。
 - e. PFIインストラクター評価トレーニングコース (IEC) を修了し、資格とアクティブなティーチングステータスでPFIインストラクタートレーナーを更新します
 - f. 更新を完了したら、インストラクタートレーナーが署名した、完成したメンバー更新フォームを送信します。
 - g. フリーダイビングの制限や限定がないことを証明するため、資格のある医師が署名した最新のメディカルを提出します。
 - h. 現在のCPRおよび応急処置トレーニングの証明を提出する

TDI メンバー向けのアクティブティーチングステータスポリシーの更新を維持していること

1. PFIのメンバーであり、更新を維持しているが、最高レベルで2年以上指導または支援を行っておらず、**他の認められたスクーバ教育機関と同等のレベルで指導しているインストラクター**、アクティブなティーチングステータスを回復するための要件は次のとおりです。
 - a. 現在、開催できるコースのすべての教材の購入またはランクの確認
 - b. 期間中のインストラクターとしての活動の詳細を記載した **PFI** メンバー更新フォームを送信します。これには、過去2年間の別の指導団体との同等の評価での教育活動の証明が含まれます
 - c. 過去2年間、他の教育機関と品質保証(QA)の問題がないことを確認します。

または

- d. 現在アクティブなPFIインストラクタートレーナー（同じレベルの資格を持つ）に、更新が完了したことを確認するメンバー更新フォームを送信する
2. PFIのメンバーであり、更新を維持しているが、最高レベルで2年以上指導または支援を行っておらず、**他の認められたフリーダイビング教育機関と同等のレベルで指導していない インストラクター**、アクティブなティーチングステータスを回復するための要件は次のとおりです。
 - a. 過去2年間、他の教育機関と品質保証(QA)の問題がないことを確認します。
 - b. PFIインストラクター評価トレーニングコース (IEC) を修了し、資格とアクティブなティーチングステータスでPFIインストラクタートレーナーを更新します
 - c. 更新を完了したら、インストラクタートレーナーが署名した、完成したメンバー更新フォームを送信します。
 - d. フリーダイビングの制限や限定がないことを証明するため、資格のある医師が署名した最新のメディカルを提出します。
 - e. 現在のCPRおよび応急処置トレーニングの証明を提出します。

メモ:更新の申請がPFI本社のトレーニング部門または地域のオフィスで確認されると、追加の要件とドキュメントが必要になる場合があります。5年以上、ノンアクティブだったメンバーは、アクティブステータスを回復するための追加要件があり、トレーニング部門に連絡する必要があります。

オンラインコードは、上記の手順のすべてについて、本部から無料で入手できます。

インストラクタートレーナー そのレベルで2年以上のノンアクティブ期間後にITステータスの更新を希望する場合は、インストラクタートレーナーワークショップに参加する必要があります（またはITクロスオーバープログラム）PFI本部トレーニング部門スタッフ（これは無料です）さらに、対応するインストラクターレベルでの更新の要件も満たす必要があります。

PFIアシスタントインストラクター は、2年以上SDI / TDI / ERDI を使用していない場合は、インストラクターと同じ手順に従います。インストラクタートレーナーの署名が必要な箇所は、任意のPFIインストラクターによる署名でも構いません。

